



『実践 生成AIの教科書 実績豊富な活用事例とノウハウで学ぶ』

(株)日立製作所 Generative AIセンター (監修)

リックテレコム(2024/3/29)
2,420円

【感想】

日立製作所グループの、データサイエンティスト、AI研究者をはじめ、IT、セキュリティ、法務、品質保証、知的財産などの各分野のスペシャリストによるCoE (Center of Excellence) 組織が総力を結集し、その知見を凝縮。日立製作所におけるGenerative AIの実績、活用事例、ノウハウを惜しみなく公開した書籍です。

本書の特徴として、実践に基づく洞察が多数盛り込まれています。日本を代表する大企業である日立製作所が、Generative AIを実際に活用した結果をもとに、効果的な手法と戦略を詳細に解説しています。内容は体系的にアプローチされており、各適用例について、適切な命令文（プロンプト）とその結果を明示しています。さらに、削減効果と難易度の2軸で整理し、企業がGenerative AIを導入する際の優先順位付けを支援しています。企業における多様なケーススタディを提供し、どこから、どのように着手すべきかを明確に指南しています。実用的なプロンプト集としても活用でき、実際に使用された命令文を、コンパクトかつ効果的にまとめて収録しています。複雑な作業については、AIとの段階的なやり取りを解説しているため、ステップバイステップで理解できます。Generative AIを事業に活用しようとする会社にとっては、貴重な指針となると考えます。

【以下、引用】

業務での適用箇所

…ここでは、実際にどのように生成AIを用いて業務効率化ができるのかを簡単にご紹介します。

- ・公開文書や社内文書の要約
- ・英語ドキュメントの翻訳
- ・資料草案の作成
- ・社内チャットボットとしての活用
- ・アイデア出し（ブレインストーミングの相手、壁打ち）
- ・検索エンジンとしての利用
- ・表計算ソフトの関数の作成
- ・プログラミング業務の支援

…

ChatGPTが登場して以降、日立グループ内で数百件のユースケースを検証し、効果検証まで完了しました。その後も社員によるChatGPTの実務利用とともにさらに数多くのユースケースが蓄積されています。

ここで企業がまず取り組むべきものは…実現難易度が低く、期待される削減時間が大きい、つまりコストパフォーマンスが高いユースケースです。